

令和3年度厚生文教常任委員会抽出事業

「子どもたちの学習環境整備」について委員会総括

<抽出理由>

芽室町における住民基本台帳に基づく年間の出生数（外国人を除く）の推移では、2020年の出生数は93人。前年から-12.3%、13人の減少で2年連続減少。また10年前の2010年からは-39.6%と61人の減少という現状がある。小学校は「芽室小学校」「芽室西小学校」「芽室南小学校」「上美生小学校」の4校で推移しており、児童数は平成22年（2010）年の1,325人以降減少に転じ、令和元年（2019）は1,130人、66学級となっている。中学校は「芽室中学校」「芽室西中学校」「上美生中学校」の3校で推移しており、生徒数は平成28年（2016）の659人以降減少に転じ、令和元年（2019）は621人、35学級となっている。

令和元年8月末に文部科学省から「GIGAスクールネットワーク構想の実現」という事業名が発表され、その後コロナウイルス感染拡大に係る対応も含め、全国の学校のネットワークを整備するもの、児童生徒全員に一人一台の端末を準備するもの、遠隔学習に係るものなどが、スケジュール変更を伴いながら予算化されてきた。これからの学びにとって、ICT環境整備は教育現場において不可欠なものであり、学校における情報化を推進していくことが求められている。本町におけるICTを活用した学習環境整備及びCSの取組み、年間出生数の減少についての課題があると考え、「子どもたちの学習環境整備」を抽出事業に取り上げ、調査に取り組むこととした。

<令和2年度の現状>

- ICTを活用した学習環境整備が行われている
- CSの取組みが進んでいる
- 町内の年間出生数が減少している

<目指す姿・目標>

- 子どもたちの多様な学びが保障される
- 地域全体で子どもを育む体制の構築

<課題・政策>

- ICTを活用するための環境整備が必要（ハード・ソフト両面）
- CSは、学校関係者以外の町民への周知及びボランティア受入れの体制整備
- 年間出生数の減少により、中長期的な視点では校区なども課題となってくる

<委員会が取り組むこと>

- 現状の課題把握のための調査
- 意見聴取・交換の場を持つ（教育関係者等）
- 先進事例等の調査研究

<令和3年度の調査・研究活動>

- 第5回厚生文教常任委員会（令和3年6月30日開催）
教育推進課の主要事業として
 - ・芽室町不登校支援システム指針の策定について
 - ・GIGAスクール構想環境整備事業について生涯学習課の主要事業として
 - ・地域学校協働活動に係る取り組み状況と今後の取り組みについて（CS）
 - ・芽室ジモト大学に係る取り組み状況と今後の取り組みについて
- 第8回厚生文教常任委員会（令和3年8月20日開催）
 - ・GIGAスクール構想環境整備事業について
- 第15回厚生文教常任委員会（令和3年11月15日開催）
 - ・GIGAスクール構想環境整備事業について
- 第18回厚生文教常任委員会（令和3年12月20日開催）
 - ・芽室町不登校支援システムの構築について
- 第23回厚生文教常任委員会（令和4年2月16日開催）
 - ・GIGAスクール構想環境整備事業について
 - ・芽室町不登校支援システムの構築について
- GIGAスクール構想環境整備事業について（所管施設調査）令和3年11月15日
芽室中学校、芽室小学校

<議会報告と町民との意見交換会「PTAとの意見交換会」にていただいた意見（抜粋）>

- ・これから社会へ巣立つ子どもたちにとって、ICTなどの機器の整備は必要である。
- ・タブレット端末で子どもがどんな画面をみているのか。不安もある。
- ・タブレット端末で視力が悪くなるのが心配。
- ・タブレット端末をどこまで制限するのか、ルール設定と平準化が難しい。
- ・ICTの活用により、学校に行くことができない子どもの学びの保障が実現できる。
- ・コミュニケーション能力の低下が不安である。
- ・家庭にタブレットを持ち帰る際のセキュリティ対策をしっかりしてほしい。
- ・ペーパーレスのメリットばかりではなく、デジタル教科書のデメリットの方が心配。
- ・各学校によって進捗の差があると感じた。農村地域での通信環境改善が必要。

- ・西中の部活動が限定されている話を聞く。
- ・子どもがしたいスポーツをのびのびさせてあげたい。
- ・他学校と合同にしなければ継続できない。廃部にすると復活が難しい。

<令和3年度 委員会総括>

令和3年度に取り組む抽出事業のテーマを「子どもたちの学習環境整備」と設定し、調査研究を行ってきた。5回にわたる委員会事務事業調査を実施し、GIGAスクール構想環境整備、不登校支援システムの構築、芽室ジモト大学の取り組み、地域学校協働活動に係る取り組み（CS）などについて現状把握と課題整理を行った。またGIGAスクール推進事業においては芽室小学校、芽室中学校での現地視察を実施した。GIGAスクール構想環境整備、不登校支援システムの構築、芽室ジモト大学の取り組み、地域学校協働活動に係る取り組み（CS）などについて現状把握と課題整理を行った。また、PTAのみなさんとの意見交換会ではテーマに沿ったご意見をいただいたところであり、大きな期待の一方で健康面や使用にあたっての不安の声も聞かれた。次年度に向けても本町におけるICTを活用した学習環境整備及びCSの取組み、年間出生数の減少についての課題があると考え、「子どもたちの学習環境整備」を抽出事業として取り上げ、調査に取り組むこととし、住民との情報共有も進めていきたい。